

人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開文書

この研究の詳細についてお知りになりたい方は、下記の問い合わせ先の担当者まで直接お問い合わせください。

1. 研究の名称

喘息患者におけるコロナ禍での社会変化による喘息発作の減少効果の正確な検討

2. 研究の目的・意義

ウイルスによる気道感染は、喘息発作の原因とされております。COVID-19 のパンデミック期において、当初、感染を契機に喘息発作患者が増加し入院数も増えることが予想されましたが、実際には喘息発作患者数や入院数が減少したと報告されました。その要因として、コロナ禍における社会変化による人々行動変容が挙げられています。

コロナ禍前後の喘息発作に関するこれまでの報告は、単純な発症数の比較がなされておりましたが、患者背景や治療内容などは十分に検討されておりませんでした。この研究の目的は、背景因子で調整した場合の喘息発作数が減少したかを確認することと、どのような部分集団で喘息発作がより減少するかを詳細に検討することです。この研究の結果は、今後の喘息患者の発作予防に役立つことが期待されます。

3. 研究実施期間

2021 年 12 月（倫理審査承認日）から 2023 年 3 月まで

4. 研究対象

神戸市在住で、2018 年 4 月 1 日以降に国民健康保険・生活保護制度を利用した方を対象にしています。

5. 研究内容

コロナ禍および非コロナ禍における喘息発作の発生率を背景因子で揃えた上で比較します。また喘息発作の発生率に違いがある特別なグループも探索します。

6. 個人情報の保護

個人情報漏洩を防ぐため、神戸市役所内において個人を特定できる情報を全て削除し、匿名化されたデータを静岡県立総合病院リサーチサポートセンター統計解析室に提供し、統計解析が行われます。本研究の実施過程及びその結果の公表（学会発表や論文等）の際には、個人を特定できる情報は一切含まれません。

7. 研究に用いる情報の項目

研究に用いるデータは、通常の事業の過程で収集される以下の既存情報を主とします。

①医療レセプト（診療報酬明細書）データ：年齢、性別、傷病名、診療行為、医薬品、入院等

人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開文書

②健診データ：BMI, 喫煙、糖尿病の有無等

③転入、転出、死亡などの喪失事由

8. 研究組織

(代表) 静岡県立総合病院

(研究協力機関) 浜松医科大学、独立行政法人国立病院機構相模原病院、公益財団法人神戸医療産業都市推進機構 医療イノベーション推進センター

9. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等ありましたら下記の連絡先まで、お問い合わせください。また研究計画書及び研究の方法に関する資料を入手することもできます。下記問い合わせ先までご連絡ください。

(研究内容について)

静岡県立総合病院 呼吸器内科

〒420-8527 静岡市葵区北安東 4-27-1

電話番号：(054)247-6111

メールアドレス：toshihiro.masuda.7080@gmail.com

担当：研究責任者 増田寿寛

(研究計画書及び研究の方法に関する資料について)

静岡県立総合病院 リサーチサポートセンター 統計解析室

〒420-8527 静岡市葵区北安東 4-27-1

電話番号：(054)247-6111

メールアドレス：nakatani.eiji.int@gmail.com

担当：研究協力者 中谷英仁

(データ提供について)

神戸市健康局健康企画課

〒650-8570 神戸市中央区加納町 6-5-1

電話番号：(078)322-6511

メールアドレス：mck@office.city.kobe.lg.jp

10. その他詳細

- ・ 静岡県立総合病院の倫理審査委員会の審査を受け、研究機関の長の許可を得て実施しています。
- ・ 情報の管理について責任を持つのは、静岡県立総合病院リサーチサポートセンター統計解析室に属する中谷英仁です。

人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開文書

- ・ 何ら研究資金は得ておらず，研究者間の協力の元，研究が行われます。
- ・ 利益相反は、地方独立行政法人静岡県立病院機構利益相反マネジメント規程に従い、利益相反委員会で適切に審査されています。